



# AirLogger WM1000の SYSナンバー、CHナンバー について

---

(株)アドバンテスト  
新事業推進室

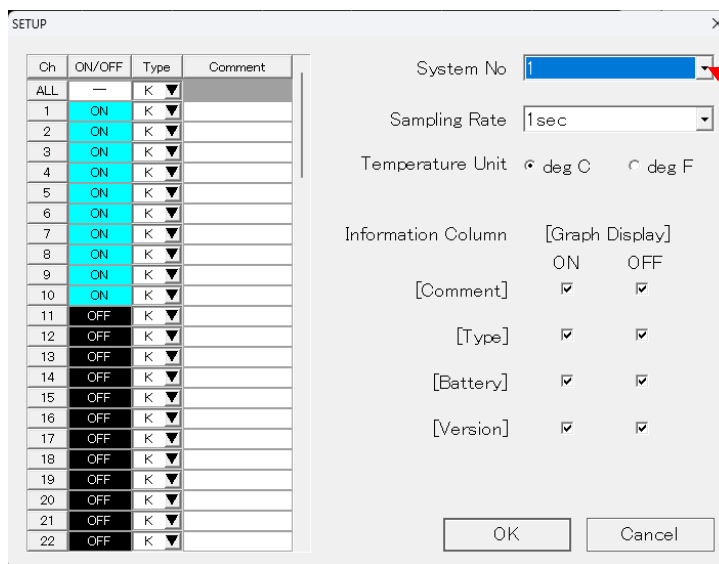
# SYSナンバー、CHナンバーについて

AirLogger WM1000の測定ユニットには、出荷時点でSYS(システム)ナンバーとCH(チャンネル)ナンバーが付与されます。

- SYSナンバーは、通信周波数を意味し、同じSYSナンバーの測定ユニットであれば、同時に使用することができます。
- CHナンバーは、測定チャンネルを表しています。
- PC通信ユニット(USB dongle)には、SYSナンバー付与はありません。すべてのSYSナンバーで使用できます。



SYSナンバー CHナンバー



測定ユニット記載のSYSナンバーはPCアプリのSETUPのここで選定します。

# SYSナンバー、CHナンバーについて

- 1台のPCで同時に使用できる測定ユニットの組み合わせ例
  - SYS1/CH1、SYS1/CH2、SYS1/CH3、SYS1/CH4、SYS1/CH5
  - SYS5/CH1、SYS5/CH3、SYS5/CH7、SYS5/CH20
  
- 1台のPCで同時に使用できない測定ユニットの組み合わせ例
  - SYS1/CH1、SYS2/CH2、SYS3/CH3、SYS4/CH4、SYS5/CH5 (SYSナンバーが違う)
  - SYS5/CH1、SYS5/CH1、SYS5/CH1 (SYSナンバーが同じで、CHが同じ)
  
- 既にWM1000を保有されている方が、測定ユニットを追加する場合
  - 保有のWM1000に追加して、同時に使用する場合
    - 購入時に、保有されている測定ユニットと同じSYSナンバーの保有されていないCHナンバーを指定してください。  
(例：保有がSYS1/CH1～10の場合、追加はSYS1/CH11を指定する)
  
  - 保有のWM1000と別々に他のPCで使用する場合
    - 購入時に、保有されている測定ユニットと違うSYSナンバーを指定してください。  
(例：保有がSYS1/CH1～10の場合、追加はSYS5/CH1～10を指定する)
  
  - 保有のWM1000の測定ユニットが故障し、交換したい場合
    - 購入時に、故障した測定ユニットと同じSYSナンバーとCHナンバーを指定してください。